

これからの中学校給食のあり方を考えています

枚方市教育委員会 おいしい給食課

今の中学校給食は、希望して予約をした生徒が食べるランチボックス（保温できるお弁当容器）方式です。スタートしてから6年がたち、新型コロナウイルス感染症や食材の値段が上がるなどといった影響で皆さんの生活の周りのことが変化するなか、教育委員会では、学校の先生やPTAの保護者、大学の先生などから意見をきいたり、アンケートを行ったりして、中学生にとってふさわしい給食とはどのようなものなのか、これからの中学校の給食をどのようにするのがよいか、考え方をまとめています。

今の中学校給食

- 希望した人が食べるランチボックス方式
- 温かいものは温かいままに冷たいものは冷たいまま食べられます
- 栄養バランスを考えた献立
- 旬の食材を使ったり日本の郷土料理や世界の料理を取り入れたりした献立
- 食物アレルギーに対応しています

量が多い
・少ない

ほかに給食を食
べている生徒が
いない

家庭で食べることの
ないメニューがある

小学校と同じ
給食がよい

いろいろな意見…

昼ご飯を食べて
いない生徒がいる

みんなで給食の準備を
しないのでめんどう

中学生に必要な栄養を
とることができる

これからの中学校給食

生徒みんなが同じ給食を食べる全員給食

小学校と同じように教室で食缶から取り分けます。

などを考えています。



どうしてみんなが給食を食べる全員給食なの？

⇒ みんなで給食を食べることで、生徒全員が…

- ★中学生にとって必要な栄養をとることができます。
- ★一人ひとりの健康・成長を支えることにつながります。
- ★多様な食を経験することができます。

どのように給食が提供されるの？

⇒ 小学校と同じで、それぞれのクラスでみんなが協力して用意をして、食缶から食器にもりつけてみんなそろって食べます。それぞれの食べる量に応じて食べることができます。



食物アレルギーがある人も給食を食べられるの？

⇒ 今の中学校給食でもアレルギーに対応した給食を提供しています。これからの給食でも食物アレルギーがある人も給食を食べられるように、食物アレルギーに対応した施設の整備や体制づくりをすすめます。

調理場や配膳室は今のまま？

⇒ 全員給食になると給食を食べる人の数が増えます。たくさんの数の給食を作るための新しい調理場の整備や、スムーズに配膳できるように必要な学校では配膳室のスペースを広げることなどを考えています。

これからの予定

※令和4(2022)年8月現在の予定です

令和4(2022)年度	これからの中学校給食をどのようにするのか考え方をまとめます
令和5(2023)年度	教育委員会と学校とで全員給食に向けた準備をはじめます
	調理場や配膳室などの準備をします
令和7(2025)年度	一部の中学校で先行して全員給食を実施します
令和8(2026)年度	市立中学校全校で全員給食がスタートします

みなさんの意見をきかせてください！

「パブリックコメント」という方法でみなさんからの意見を募集しています。くわしくは枚方市ホームページや広報ひらかた9月号13ページをみてください。保護者の方にも聞いてみてくださいね。



←ホームページはこちらから

URL:<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000046332.html>

